

「新たな経済指標： 新国富の理論と実証」

【講師】 馬奈木 俊介 氏

九州大学工学研究院環境社会部門 主幹教授

2019年 7月 16日(火) 14:00~16:00

【場所】 公益財団法人アジア成長研究所 6階 会議室

(北九州市小倉北区大手町11-4 大手町ビル「ムーブ」6階)

【参加料】 無料 【使用言語】 発表・資料ともに日本語



馬奈木 俊介 氏

【概要】

「経済」の指標化といえば、GDP(国内総生産)が最たる例であるといえる。経済的な豊かさを国同士や地域同士を比較するとともに、各国の経済政策上の目標としてこれまで、広く利用されてきた。しかし物的な豊かさのみに焦点を当ててきたこれまでの多くの経済指標が、本当にわれわれの望む豊かで持続可能な社会を、反映できているかは疑問を持っている人は少なくないであろう。健康・教育問題、気候変動問題やさまざまな資源問題など、本当にわれわれが目指すべき豊かな社会を考えた場合に解決すべき問題は多様であり、そうした問題を解決し、持続可能な社会を実現するための目標として利用できる指標が必要であるといえる。こうした疑問は学術的にも広く議論がされてきており、その整備は実は着実に進んでいる。

国連の新国富指標は現在、その代表的な指標として挙げられる。新国富指標はこれまで提唱されてきた社会の持続可能性を評価する指標を包括的にとらえた総合的な持続可能性の評価指標といえる。新国富指標はわれわれの豊かな社会・経済を生み出す資本全体を貨幣価値ベースで推計した指標であり、推進された国連「富の計測プロジェクト」を起点とした新たな経済社会をとらえる指標として発展してきた指標である。

現在、九州大学都市研究センターでは、日本全国での市町村単位での新国富の値を公表している(<http://www.managi-lab.com/>)。こうした新国富の推計をもとに福岡県久山町、宮若市、福井県、山口県防府市などの実際の街づくりの指標としても議論に使われ始めている。とくに九州大学都市研究センターと連携協定を結んだ久山町や宮若市では、実際に推計を行った新国富指標をもとに、2018年度、2019年度予算を編成し、持続可能な町づくりを推進している。こうした総合的な指標により、政策的な優先課題をより丁寧に拾い上げることができ、客観的指標による継続的な評価を行うことができる。そのため、各地方自治体において、自身の自治体の特色が何であるか、より容易に比較することが可能となるだけでなく、持続可能な社会構築のための指針を持つことが可能となる。

お申込方法

HP・FAX・お電話のいずれかにてお申込みください。

- HP ⇒ <http://www.agi.or.jp>からお申込みください。
- お電話 ⇒ TEL : 093-583-6202 までご連絡ください。(受付 9:00~17:00)
- FAX ⇒ 下記内容をご記入の上、本紙を送信してください。

【お問合せ先】
公益財団法人 アジア成長研究所 (AGI)
担当：谷村 TEL 093-583-6202
E-mail: asia@agi.or.jp

FAX: 093-583-6576

ご芳名 (ふりがな)	ご所属・役職 / 学校名・学年	ご連絡先電話番号	賛助会員番号 (会員の場合)

※ご記入いただいた個人情報、当研究所業務に関する情報提供・運営管理に活用させていただきます、第三者に提供することはありません。